

令和2年6月29日（月）

## 全校朝会（放送）

校長 橋本

おはようございます。

新型コロナウイルスに感染しないための新し学校生活が始まって一か月がたちます。皆さんは新しいルールを正しく理解して、きちんと守り、生活をしています。大変素晴らしいと思います。朝登校したらすぐに手を洗い、休み時間やトイレの後にもきちんと手を洗い、掃除の後にも手を洗っています。

給食の時にはおしゃべりをせず静かに食べています。教室には食器とスプーンが当たる音だけが響いていました。素晴らしい習慣を身に付けました。

しかし、ニュースを見ると東京では感染する人がどんどん増えています。とても心配です。こんなニュースを見ると、つい「かかった人が悪いと思ってしまう人はいませんか。」

それは、間違っています。決してその人を悪いと思っははいけません。

なぜなら、この病気にかかりたいと思っている人は一人もいないからです。まだ、この病気のことをよくわからず、治す薬やワクチンもできていません。どんなに気を付けていても、誰でもかかる可能性がある病気です。

そこで皆さんに考えてほしいのは、

「もしお友達がこの病気にかかってしまったらみなさんはその友達にどんな言葉をかけるか」を考えてみてください。

この病気にかかりたい人は誰もいません。かからないようにみんなが注意しています。しかし、この病気は熱や咳がなくても人にうつる厄介な病気です。誰もが知らないうち感染している可能性があります。

ですから絶対にその人が「つらく」なるような声掛けはしてはいけません。どんな言葉がいいのか考えてみてください。そのためには、もし自分がかかってしまったらどんな思いをするか考えてみるとよいでしょう。またその時に友達からどんな声をかけてもらおうとほっとするか考えてみるとよいでしょう。

かかった人が悲しむようなことをいう人はいじめをする人と一緒です。一小からそんなことをいう人が一人もいないように、今週はみんなですらいいか考えてみてください。